企画展「名和長年とその一族―今につながる７００年の軌跡―」

開催要項

鳥取県西伯郡大山町御来屋周辺を本拠地としていた武士・名和長年は、鎌倉幕府討幕を目指す後醍醐天皇を船上山（琴浦町）に迎え入れ、追討軍を破り多大な功績をあげたことで広く知られています。後醍醐天皇が船上山から発した命令を受けた足利尊氏が幕府方から離反したことにより幕府滅亡が決定的となったため、名和長年の活躍は日本の歴史の分岐点ともいえます。また、名和長年の死後その一族たちは、肥後国（熊本県）に移り八代（八代市）において領主となり、豊臣秀吉による「九州国分」に至るまで宇土（宇土市）を治めました。その後、子孫は柳川藩（福岡県柳川市）の家臣となり、近代には貴族院議員としても活躍しました。

本展示では、名和一族の鎌倉時代から近代にいたるまでの７００年ほどの活動を、資料を通して紹介します。また、名和長年とその一族が歴史の表舞台に如何にして現れ、歩んでいったかに光を当てます。さらに、名和男爵家に伝わった文書や名和長年とその一族を祭神として崇敬を集めている名和神社の宝物と、関連資料を多数展示します。

■会　期　　令和８年１０月３１日（土）から１１月２９日（日）まで
■会　場　　鳥取県立博物館　第１・２特別展示室
■主　催　　名和展実行委員会（鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送）
■観覧料　　７００円（前売り・２０名以上の団体５００円）
■主な展示品　後醍醐天皇自筆宸翰（国立歴史民俗博物館所蔵【国指定重要文化財】）、太平記絵巻（埼玉県立歴史と民俗の博物館【埼玉県指定文化財】）、名和系図・古本伯耆巻（名和神社・個人蔵）、後醍醐天皇綸旨（出雲大社【国指定重要文化財】）、名和氏老中連署状等（慶応大学三田メディアセンター【国指定重要文化財】）。
■展示構成
プロローグ：後醍醐天皇の政治
第一章：名和長年と後醍醐天皇の討幕
第二章：名和長年と建武の新政
第三章：名和一族の歴史
エピローグ：名和長年・名和一族と鳥取県

■関連事業　　名和一族シンポジウム「名和一族の歴史と語られ方」（会場：赤碕地域コミュニティーセンター）、ミニ後醍醐レース in 鳥取県博
■展示担当者　山本　隆一朗（鳥取県立博物館学芸課主任学芸員）